

学校評価のねらい 義務教育学校として果たすべき役割を地域・保護者・教職員に明確に継続して示した上で、開校 11 年目を迎えた今年度、“持続可能な教育活動”を構築するために必要な視点を育て、教育活動の改善に取り組んでいく。また、本校の特色である「5・4制施設併用型システム」を最大限活用できるよう、過去 10 年間の結果の検証をもとに、新たな視点を加えて発展させていく。学校教育目標の実現に向けてカリキュラムマネジメントを行う上で、PDCA サイクルを活性化させるために学校評価システムを活用し、自己評価と関係者評価を相互に機能させ、義務教育学校としてさらなる教育活動の充実を目指す。

評価の検討と実施		学校運営協議会 学校評議員の会	公表の時期と方法
中間評価	4	教育指導計画書の作成	学校だより（教育方針の発信）
	5	評価項目の検討	役員会（R6 年度組織の検討） 第 1 回開催 学校教育方針の説明
	6		
	7	児童生徒アンケート 保護者アンケート 教職員アンケート	学校評価年間計画（ホームページ）
	8	自己評価	
	9	役員会（各部会、中間報告） 学校運営協議会による評価の 分析（学校関係者評価）	学校だより、ホームページ で結果・改善策を公表
	10		
	11	研究報告会参加者アンケート	
	12		
	1	児童生徒アンケート 保護者アンケート 教職員アンケート	役員会（各部会、年度末報告） 学校運営協議会による評価の 分析（学校関係者評価）
	2	自己評価	第 2 回開催 学校運営協議会による評価の 報告（学校関係者評価）
年間評価	3	調査結果の分析 今後の方針・改善策の検討 次年度学校経営方針の確定、共通理解	学校だより、ホームページ で結果・改善策を公表 次年度組織編制